

博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防チェックリスト



本チェックリストは「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を基に日常場面でのチェック項目をまとめたものです。感染防止策のすべてを網羅しているわけではありませんので、ガイドラインを併せて参照し効果的な感染対策に努めましょう。

1 正しいマスク着用・咳エチケット

- 国のマスク着用指針に基づく対応と、咳エチケットを周知・徹底している。
- 飲食時等でマスクを着用していない場合は、会話を控えるようにしている。
- 大声を控えるよう周知・徹底している。
- 十分な人と人の距離が確保できない場合等、必要に応じてアクリル板や透明ビニールカーテンによる遮蔽を行っている。

2 手洗い・消毒

- こまめな手洗いを徹底している。
- 手指消毒液を設置し、使用を徹底している。
- ユニフォームや衣服をこまめに洗濯している。
- 接触の多い部分（ドアノブ・スイッチ・展示ケース等）の消毒を適切に実施している。
- 施設共有部（休憩室・更衣室・喫煙室等）の消毒を適切に実施している。
- オンラインチケットの販売やキャッシュレス決済を推奨している。

3 密閉・密集の回避

- 必要に応じ、こまめな換気を実施している。
- 施設の状況に応じた人数制限や動線確保を行っている。
- 列に密が発生する場合は、マークをつける等して、十分な間隔を空けた整列を行っている。
- 人と人の間は、密が生じない間隔を確保している。
- 休憩室や車輦内等の共有部での密集を回避している。

4 飲食の制限

- 飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食を制限している。
- 座席配置の工夫、距離の確保、必要に応じてパーティション設置等の対策を行っている。

5 有症者の来館防止

- 入館時の検温等、有症状者（発熱や咳等の症状）の入場を防止する措置を適切に実施している。
- 接触確認アプリ（COCOA）のダウンロードや各地域の通知サービスの登録を推奨している。

6 従事者の体調管理・遠隔での業務の推進

- 体調が悪い場合には出勤せず、自宅療養するルールを徹底している。
- 健康観察アプリなどの活用を推奨し、毎日の健康状態を把握している。
- 必要な最小限度の出勤人数とするなど、ジョブローテーションの工夫を行っている。
- 会議等を行う場合、オンラインの活用や短時間化を進めている。

7 [管理者向け] リスク評価・感染防止策の実践

- 三密（密集・密閉・密接）や感染リスクの高い「5つの場面*」に応じたリスク評価を行っている。*ガイドラインを参照
- 「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を参照した取組みを実践している。